

C型肝炎の患者に 救済・支援措置を



見上 政子 議員

質問 以前、峰浜村役場の近くにあった医院で治療を受け、注射をしていた人がC型肝炎を発病している可能性があるという話がある。せめて今八峰町に住んでいる人でその医院を利用したことのある人は肝炎検査を受けてもらい、陽性反応が出た人・発病した人・肝臓がんで亡くなった人に何か救済・支援措置をとるべきではないか。

答弁 C型肝炎が限られた地域に集中しているとのことだが、町としては自治会単位や地域別といったデータはないの

質問 冬期間だけでも利用できる高齢者住宅を設置する考えはないか。峰浜地区の町営峰浜歯科診療所や八森地区には遺族から提供された茶の沢の住宅があるが、整備して利用することも可能ではないか。空き家がなれば新たに立地条件を生かした地域に高齢者住宅を設置する考えはない

高齢者住宅について

【用語説明】
C型肝炎…ウイルスの感染により肝臓の炎症が続き、細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気。放置しておくと、長い経過のうち肝硬変や肝ガンに進行しやすい。感染者の多くは、C型肝炎ウイルスが発見される前の輸血や血液製剤あるいは注射針の使い回しで感染したものと考えられる。

で、町独自の患者救済対策は考えていない。



現在休診中の町営峰浜歯科診療所

質問 現在住んでいるところは長年愛着を持っている場所であり、一概に便利の良い所だけが住みやすいとは限らない。町内各地に住む方々に不便をかけるないように冬期間における生活道路の確保をはじめとして行政サービスの向上に努めたい。町営峰浜歯科診療所は現在休診中となっているものであり、医師が確保できれば診療を再開するとしているので現在のところそのような活用は考えていない。

質問 派遣した22名の職員から報告が出されているので、これをまとめて震災時の町の対応や業務に活かして行きたいと思っている。まとまったら、広報誌への掲載についても検討したい。

答弁 ポンポコ山公園整備事業については、本工事に着手すべく最終調整を行っている所であり、事業の減額をせず、当初計画どおり着実に推進していく。

東日本大震災の 教訓をどのように 受け止めるか

質問 災害地に職員を派遣してどのような教訓を得て、報告はいつまでにしてもらえるのか。

答弁 災害救援費や防災対策費に想定外の費用がかかるので、ポンポコ山公園の整備縮小を考えないか。

町営診療所の経営について



皆川 鉄也 議員

質問 八峰町営診療所の医師が来年度定年退職と聞いているが、その後の診療所の存続も含め、危惧される町民の声にどのように対応するのか所見を伺う。

答弁 現医師は、平成5年に採用し、地域医療、松波苑、子ども園及び小中学校の嘱託医として町民に愛され親しまれ、本場に大きな貢献をしていただいている。来年度定年退職年齢であるが、引き続き勤務をお願いしたい。

町民に定着した八峰町営診療所並びに埴川分院

質問 定年間近に控えた管理職員が退職したり、職場におけるさまざまなストレスで病気休暇中の職員もいる。職員の健康管理の対応について考えを伺う。

答弁 法令に従い、定期健康診断を全職員対象

職員の健康管理の あり方について



八峰町営診療所

は引き続き運営していく所存である。



再質問 町民ニーズも多期中、優秀な人材が長期間休職するのは気の毒

に年1回実施。40歳以上の職員には、肺ガン、前立腺ガン、大腸ガン検診を実施。市町村組合補助事業の人間ドック受診を奨励している。メンタルヘルスケアについても研修会を実施し、職場適応、治療又は復帰を図るために秋田大学の専門家に年間を通して助言・相談対応をしていただいている。機会がある毎に健康管理に注意するように言っている。職員同士でも心配りをし、職場内でも相談に応じる体制を整えるよう努めていく。



答弁 職員間のストレスについては十分配慮を、いろいろな角度から心の動きを調査し対応してきた。仕事も少数精鋭で人員を最小限に抑え、経費節減・効率化の一方ではまた、仕事は高度になるといふ非常に厳しい状況が続くと思われるので、ますますその面の管理は大事であり、気をつけて対応していく。

であり、痛手である。今後ますます地方分権が進み、職員の手腕にかかるのでストレスは増大すると思われる。明るい、能力のある職場の確立について伺う。